

## としまち研掲示板

## △▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	8月19日(水)
コーポラティブハウス部会	8月19日(水)
団地・マンション再生部会	9月7日(月)
人と暮らし部会	8月25日(火)
総務部会	8月21日(金)
広報部会	8月21日(金)

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。



あおい地区戸建て建設中の様子(阿部久美子さん提供)

### 株式会社 TMK サポート設立 お披露目会のお知らせ

としまち研は今年8月4日で設立15周年を迎えます。私たちは、「NPOは、社会の諸問題をとらえ、問題解決の手法や方策を調査・研究し、実践していく組織である。」という認識のもと、共同建替え、コーポラティブハウス建設、マンション建替え、マンション大規模修繕などの事業の実践に取り組んできています。

これらの事業への取り組みに際しては、コーポラティブハウス事業への参加者募集経費の先行投資、あるいは先行して計画敷地の一部の権利を先行取得しなければならない場面もあります。しかし、としまち研独自では資金調達が困難です。

そこで、としまち研会員を中心に出資者を募り、としまち研の取り組みをサポートする新しい株式会社を設立することになりました。

設立日はとしまち研の設立日と同じ8月4日に決定しました。

つきましては、8月27日(木)18時30分より、「株式会社 TMK サポート」設立のお披露目会を、COMS HOUSE2 階会議室にて行います。

改めてご案内いたしますが、ぜひ、株式会社の設立趣旨にご賛同いただき、皆様にご協力をお願いいたします。

設立発起人代表 平石郁夫

## 編集後記

急に夏がやってきた～！という感じで外に出ると汗びっしょりです。

ここのところ、事務所でゆっくり腰を据えて仕事ができず、落ち着かない毎日を送っていますが、落ち着かないというのも悪くないです。なんとなくですが、次から次へと情報が入ってくるにより、頭が冴える気がします。今までも時間がなくて…と思っていたのですが、時間は使いようを感じる今日この頃で、意外に充実しています。(事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階  
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326  
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/  
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数  
正会員 63人 賛助会員 33人  
編集発行人 平石郁夫  
事務局担当 飛澤玲奈



## としまち研会報 第76号

## おいらのまち

2015.7

発行 NPO 都市住宅とまちづくり研究会 理事会

## 第15回としまち研東日本大震災復興支援委員会(続)

…前号に引き続いての内容です。前半の文章は第75号でご確認ください。

つづいて、住まいづくりの講演会の講師をしていただき、山本厚生さん・ヒカルさん、前半の意向調査やイベントなどで頑張っていた平野武洋さん、森田寛さん、大森桃子さん、森正代さん、飛澤宜成さん、山崎裕之さん、鈴木実さん、本吉喜好さん、山門順一さん、矢ヶ崎洋恵さん、大瀬明子さん。

縁の下の力持ちを演じてくれた平石郁夫さん、としまち研事務局の関真弓さん・岩ヶ谷充さん、市野恵司さん、田辺誠史さん、田辺幸男弁護士…とそれぞれの取り組みと感想を発言してくださいました。

また、当日の委員会は欠席でしたが、毎年度、業務の仕様書と見積もりを作成し、市役所との調整役となって頑張っていた坂口耕司さん、主にデータの整理をしてくれた現地事務所の事務局青山秀明さん、本部事務局の五十嵐敦子さん、今年2月28日、3月1日にあおい地区の災害公営住宅第1期の皆さんへのブルーバリーの寄贈と植え込みをしていただいた大塚憲さんほか、様々な人の助けがあった復興支援活動ができたことに感謝します。

としまち研は、あくまでも「住民主体のまちづくり」の取り組みのお手伝いをし、その基本を間違わないでやりきったように思います。毎日新聞(宮城版、4月1日付)が協議会主催のとしまち研送別会を取り上げ、としまち研が協議会の事務局業務を「卒業」と評価してくれました。

この復興支援委員会に参加して下さった多くの皆さまのお蔭と感謝しております。

末筆になりますが、杉山洋子さんには陰に日向にとしまち研の復興支援事業をしっかりと支えてくれたことをここに記して感謝いたします。(としまち研理事長 杉山昇)



あおい地区最新情報！(5階建ての災害公営住宅)

## おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

## 『ともに15年』としまち研 関真弓

としまち研設立15周年ということは、私も事務局に勤めて15年。入った頃は、「事務局として活動を縁の下から支えられる存在になりたい。」などと大それたことを言っていたような気がします。若気の至りですね。そんな勘違いをしながら我武者羅に走り続け、何度もつまづいてまわりに心配や迷惑をかけながらも、多くの皆さまにあたたかく支えていただき、現在もとしまち研事務局の一員としていただけることをとてもありがたく思います。

杉山さん曰く、私はもうすぐ“不惑”(=人生の方向が定まって迷わなくなる/孔子「論語」)の年代に入るそうです。そのような境地はまだまだ感じられそうもないな…と自分の不徳と反省しつつ、悩んだり迷ったりすることは新しい何かに向き合っているからこそ、と前向きにとらえて、これからもとしまち研とともにいろんなことにチャレンジしていきたいと思っています。

なお、8月6日(木)『15周年記念の集い』(次頁案内)では、井戸端会議の全体進行を仰せつかりました。皆さん、助け舟を出しにぜひご参加ください！(迷わず宣伝できるようになったあたりは“不惑”?)

※次号の『ひとりごと』は大瀬明子さんです。お楽しみに。



一木会ご報告(原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です)

☆第238回一木会(2015. 6. 4)

明治学院大学法学部教授の大野武氏に、「定借マンションの近未来を考える」というテーマでお話いただきました。

日本でも一定程度存在する定借マンションの存続期間満了が近付いたとき、どんな問題が生じるのかという問題提起に始まり、定借マンションの実例紹介とその実態、考えられる定借マンション問題の解決策、さらにはイギリス法の紹介とその実例から考えられる問題解決の可能性の検証…と盛りだくさんの内容を分かりやすく丁寧にお話いただきました。



☆第239回一木会(2015. 7. 2)

ピーストゥリー・プロダクツ代表の我妻和樹監督に、ドキュメンタリー映画「波伝谷(はでんや)に生きる人びと」のショートバージョンを上映後、お話をいただきました。

映画は、宮城県南三陸町にある波伝谷地区で、震災までの3年間、その地に生きる人びとの日常を撮り続けた作品です。映像から伝わる地元の方々の方々のありのままの姿や様々な葛藤と、この作品への我妻監督の熱く深い想いに触れることができます。

8月1日から、東京・ポレポレ東中野にてモーニングショーで上映されます。是非、映画館へ！ ※事務局に前売り券あります。



今後の一木会予定

☆8月(8月6日)【第240回一木会】「としまち研設立15周年記念の集い」

8月の一木会は、としまち研設立15周年を記念して、日頃からお世話になっている各分野の皆さまに座談会でお話をしてもらい、かつ、その座談会を踏まえて、参加者全員で井戸端会議(ワークショップ)を行い、としまち研として、今後、取り組んだらよいこと、としまち研に期待することなどを話し合っただけでなくと考えています。

多数の皆様にご参加いただけますようよろしくお願いいたします。

- 日時 平成27年8月6日(第一木曜日)午後6時30分～
- 場所 興産信用金庫 本店3階ホール
  - ※ 千代田区神田紺屋町41(としまち研から2分ほどです)
- 参加費 無料
  - ※ ご参加のお申込み・お問い合わせは、電話5207-6277 まで
- 内容

活動報告 としまち研理事長 杉山 昇  
 座談会 登壇者：森山真次 住宅金融支援機構 東北支店長  
 谷 正隆 首都圏不燃建築公社 理事・事業開発部長  
 大木祐悟 旭化成不動産レジデンス マンション建替え研究所  
 佐藤嘉紘 東松下町々会 町会長  
 (順不同・敬称略)  
 井戸端会議(ワークショップ) 全体進行 理事・事務局長 関真弓  
 テーマ「としまち研はこんな取り組みを！こんなことを期待する」

☆9月(9月3日)【第241回一木会】

女性建築技術者の会の皆さん 「記憶の中の住まい～東松島を訪ねて～(活動報告)」

千代田まちづくりサポートで助成金決定!!



提出したプレゼン資料

公益財団法人まちみらい千代田が3年ぶりに復活させた「千代田まちづくりサポート」に「地域主体で運営する『(仮称)東松下町コミュニティカフェ計画』の実現に向けて」というテーマで応募しました。6月6日(土)午前11時頃から、応募者19グループが参加した公開審査会には、町会から葛西充副町会長、田中克昌交通部長、としまち研からは杉山と発表担当の関事務局長が参加しました。

持ち時間約3分というなかで発表を行い、質疑にもしっかり対応した結果、1次審査で7名の審査員全員の支持を得てトップに。さらに2次審査でも満票をいただくことができました。

40万円の助成金を申請していましたが、結果は申請額の9割である36万円。今後、町会コミュニティ委員会などを中心に検討する「東松下町コミュニティカフェ計画」の活動に使うことになります。町会の皆さんとともに、としまち研は人と暮らし部会を中心として、コミュニティカフェ開設のお手伝いをしていきたいと考えています。(としまち研理事長 杉山昇)

入居者レポート こはす 防災イベント開催

昨年度、こはす管理組合では、千代田区の「マンションの災害用備蓄物資助成」(現在は公益財団法人まちみらい千代田の事業へ一部名称を変更して移管)を利用して災害用資器材を購入することが出来ました。

ところで、皆さんはこれらの資器材がどこに保管されていて、どのようなものが備えられているかを知っていますか？

ということで、7月4日(土)、こはす管理組合の防災イベント、題して「みんなで購入備品を確認しよう！」会を開催しました。



みんなで確認中

当日は多くの世帯の皆さんが参加されました。保管場所や使い方の説明を受けて、実際に資器材を手に取り、重さの実感や組み立て方の実践をしてみました。また、実践を踏まえ、皆さんでディスカッションし、他に必要なもの等の多くの意見を出してもらいました。

イベント終了後は、日本橋三越屋上「ピヤガーデン」に会場を移し、新たに入居された方のご紹介と懇親会を行ないました。開会時はまだまだ日差しが強く暑かったのですが、お酒が進み、ビルに日が隠れるころには涼しくなり和やかな閉会となりました。(こはす管理組合防災委員長 廣瀬泰介)

こがし桜村交流会

去る6月20日(日)に宇都宮市の西端にある古賀志町内「こがし桜村」全29区画中14区画、41名の新住民と地元の皆さんが参加して交流会が開かれました。



「こがし桜村」遠景

「こがし桜村」は、地元の皆さんが、廃校の危機にあった城山西小学校を守ろうという運動の一環で、住む人を増やそうと平成18年頃から事業をスタート。まずは約4,300坪の土地の農業振興地域の指定を解除し、次に50戸連たんであることを証明するために公民館を建てるなど、大変な努力をしてきました。交流会の時点では、29区画中23区画が入居もしくは建築中、2区画が契約済、残り4区画という状況でした。

交流会では、地元の「こがし桜村をつくる会」の北条将彦会長や自治会長などの挨拶の後、若干の質疑応答をしてから懇親会になり、自己紹介をしました。定年退職後の生活の場、自然のなかで子育てをしたい、実家と職場の中間点、広い敷地、農業がしたかった、など動機も含めたいろいろな話がありました。

城山西小学校には、「こがし桜村」から6人の児童が通っており、来年には2名が新1年生になる予定です。50名を切っていた城山西小学校の児童数も現在95名とのこと。「何とかして明治8年創立の伝統ある小学校を守りたい。」という地元の思いが現実になっています。

(株)すばる建設企画は、NPO 仲間のNPO 自然大好きe-街づくりの要請で、「こがし桜村」の宅地区画の売主(地権者と買主のつなぎ役)としてかかわっています。(としまち研理事 杉山洋子)